

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年08月28日

計画の名称	福岡町における快適でうるおいのあるまちづくり												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	福岡町												
計画の目標	生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水の防除を目的とし、下水(汚水・雨水)排除に必要な施設の整備を住民の理解を得ながら推進し、望ましい水循環・水環境づくりに努めます。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,087	A	1,075	B	0	C	12	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.1	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	福岡処理区における下水道処理人口普及率を約100%にまで引き上げることを目標に整備を進める。 下水道処理計画区域面積のうち整備済み面積の割合。 下水道処理整備率=整備済区域面積(ha)/計画区域面積(ha)(684ha)	82%	90%	100%
2	下水道による都市浸水対策の達成率を3%(H27)から6%(H31)に増加。 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策の達成率=概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)/都市浸水対策を実施すべき区域面積(ha)(169ha)	3%	4%	6%
3	長目処理区(コミュニティプラント)を公共下水道へ統合することにより、福岡町における効率的な汚水処理を図る。 コミュニティプラント処理場1施設の統合を図る。 統合率=統合済コミプラ施設数/全コミプラ施設数	0%	0%	100%
4	持続可能な下水道事業の実施を図るため、「ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。 処理場のストックマネジメント計画を策定する事業計画数。 策定率=事業計画数(計画)/全事業計画数(計画)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠（ 汚水）	新設	市川右岸第2分区面整備 工事（未普及解消）	汚水管 φ300 A=120ha	福崎町	■	■	■	■	■	250		—	
	A07-002	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠（ 雨水）	新設	市川排水区（浸水対策）	幹線渠工事 L=6, 120m	福崎町	■	■	■	■	■	600		—	
	A07-003	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠（ 汚水）	改築	市川左岸第3分区統合汚 水管	汚水管 φ100～150mm A=8.6h a	福崎町			■	■	■	120		—	
	A07-004	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	—	—	福崎町下水道施設（スト ックマネジメント計画）	計画策定・改築更新 1処理 区	福崎町			■	■	■	100		—	
	A07-005	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	管渠（ 雨水）	新設	市川排水区（浸水対策）	効率化計画（直谷川浸水対策 ）	福崎町				■	■	5		—	
											小計						1,075			
											合計						1,075			

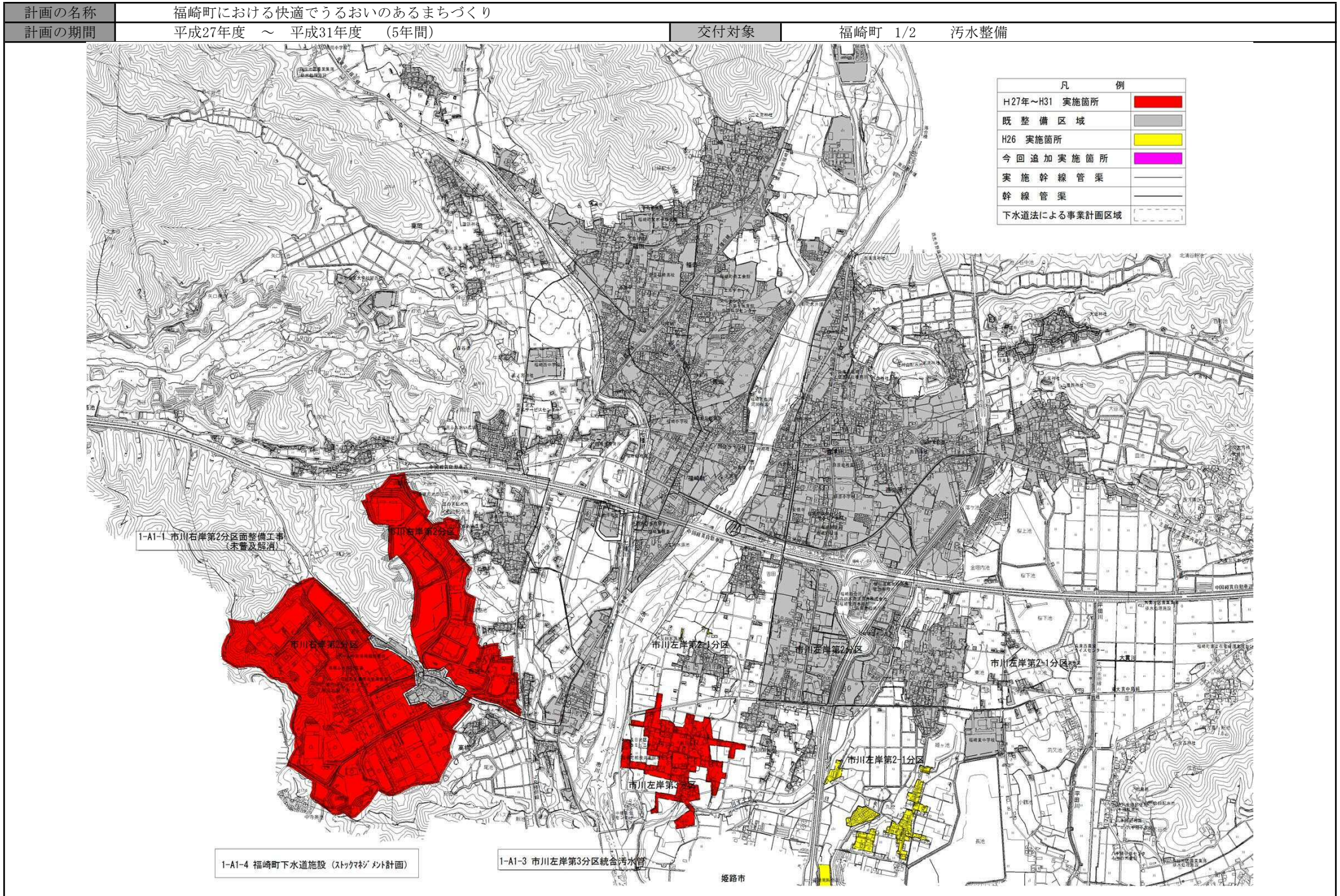
C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	—	—	ハザードマップ作成	市川流域におけるハザードマ ップの作成	福崎町				■	■	7	—	
		ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																	
下水道事業	C07-002	下水道	一般	福崎町	直接	福崎町	—	—	防災訓練実施支援	防災訓練実施用の備品購入	福崎町	■					5	—	
		災害発生時の避難行動を訓練するとともに、内水対策に関する啓発・訓練を行い、災害発生時における被害の軽減を図る。																	
											小計						12		
											合計						12		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

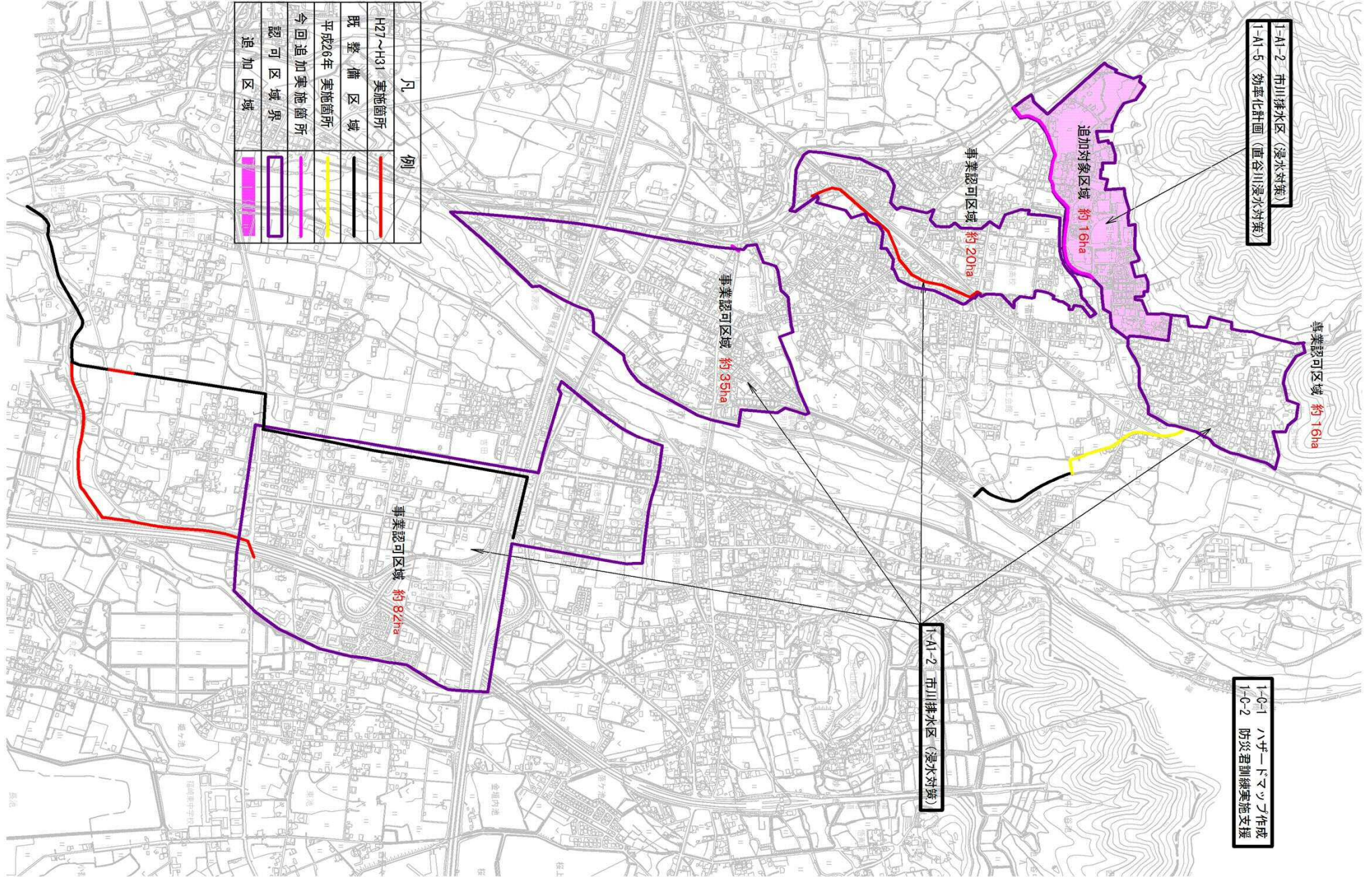
	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	196	77	74	56	
計画別流用増△減額 (b)	△30	0	0	15	
交付額 (c=a+b)	166	77	74	71	
前年度からの繰越額 (d)	116	135	35	66	
支払済額 (e)	147	177	43	93	
翌年度繰越額 (f)	135	35	66	44	
うち未契約繰越額 (g)	0	35	36	18	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	16.5	33.02	13.13	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		用地取得に不測の時間を要したため	用地取得・他事業調整に不測の時間を要したため	他事業調整に不測の時間を要したため	

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	福崎町における快適でうるおいのあるまちづくり		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	福崎町 2/2 雨水整備



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 福崎町における快適でうるおいのあるまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との適合 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との適合 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との適合 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑦円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑦円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑧地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑧地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○